

<直播栽培の特長>

育苗が不要で、刈取り時期を遅らせることで労力が分散し、面積拡大が可能となり所得増大が期待できます。

【経営面のメリット】

1. 育苗が不要なので育苗ハウス不足が解決できる。
2. 水稲面積の拡大、育苗ハウスの有効活用による所得増大が期待できる。
3. 移植に比べ7～10日程度収穫が遅れるため、秋収穫作のピークを調整できる。

【作業面のメリット】

1. 播種方法は、乗用播種機(条播、点播)、無人ヘリ・ドローンや動力散布機などによる散播が可能。
2. 散播は、乗用播種機に比べて労働費(労働時間)が削減できる。

【直播方法】

1. カルパーコーティング
土中に播種することで倒伏しやすいコシヒカリにも適する
2. 鉄コーティング
播種の1か月前からコーティングが可能で鳥害も少ない
3. V溝乾田直播
コーティングが不要で播種深さが5cmのため鳥害も少ない
4. リゾケア
酸素供給剤と殺虫・殺菌剤をコーティング済みで苗立ちが良好

NEW

水稲湛水直播向け コーティング種子

リゾケア[®] XL

「リゾケアXL」とは水稲直播栽培における新たな種子コーティング技術です

- 種籾に3種類の被覆資材「酸素供給剤」、「殺菌剤」、「殺虫剤」をコーティング。
- 3種類の被覆資材の効果により、従来技術の課題であった苗立ちが安定することで、収量の改善が期待されます。



リゾケアXL(コーティング処理済み種子) リゾケア XL



ドローンによる播種

